

教科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・3年・E組
使用教科書	林産物利用 文部科学省 部科学省検定著作教科書 文 7 農業316 実教		副教材等	自作プリント	

1 学習の到達目標

林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得し、林産物の特性を理解するとともに、林産物の多様な利用を図る能力と態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4月	3製材と木材の工作	3-1 製材	・座学：製材 作業工程 機械の構造	テスト・レポート 実験・実習観察 実習（技術）
5月		3-1-1 のこぎり		
6月		3-1-2 製材作業		
7月		3-1-3 製材機械	・実習：製材機械の取扱 製材の基礎作業	①機械の取扱 ②作業工程
8月		3-2木材の工作		
9月		3-2-1 工作法	・座学：工作の技術 木材加工機の取扱 塗装の基礎 ・実習：木材加工機の取扱 安全作業 木取りの基礎と実践 作品製作（1） 作品製作（2） 塗装の実践	テスト・レポート 他 実習観察 作品（1） 作品（2） 実習（技術） ①機械の取扱 ②作業工程
10月		3-2-2 木材加工機		
11月		3-2-3 作品製作（1）		
12月		3-2-4 作品製作（2）		
1月		3-2-5 塗装		
2月		3-3 木材の乾燥と保存	・座学：乾燥と保存 ・実習：木材乾燥実験・観察	テスト・レポート ・ 実習観察
3月		3-3-1 乾燥		
4月	3-2-2 保存	・座学：保存 ・実習：作品展示	テスト・レポート	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	座学・実習への積極的な参加と、レポート等の提出。
思考・判断・表現	理論と実習が一体となり、新たな工夫が出来る。
技能	習得技術で実験ができる。
知識・理解	座学での学習内容を実物や技術で確認できる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

・授業ノート ・実験実習レポート ・観察記録 ・ノートファイル ・課題レポートなど

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

木材加工利用の基礎としての産業動向や木材の性質・利用について学習し、さらにさらに林産物として最も利用の多い木材加工の基礎技術を習得して作品の製作を行う。個性と工夫が大切である。

